

第42回 社福協 健康食品フォーラム

テーマ：健康食品に関する調査から見える課題と展望

「機能性表示食品」は、制度が導入されて3年も経たずに、特定保健用食品（トクホ）の許可品目数 1085 を超える届け出が、受理されています。制度発足当初は、行政、企業ともに不慣れであり、手続き的にもいろいろな問題が指摘されましたが、相当改善された結果であると思います。

一方、トクホにしても機能性表示食品にしても、もともとは、質の悪い「いわゆる健康食品」を淘汰することが期待されていましたが、未だその効果は実感できません。

国が許可しているトクホは、平成 28 年に許可時の関与成分が規定量含まれていなかったり、関与成分がそもそも含有されていなかったりという問題が発覚し、事業者に対し、関与成分に関する調査が求められました。またその際、トクホとして許可された製品のうち、現在販売されているものはその3割にすぎないことも分かりました。

食品への機能性表示は、「国の許可」「事業者の責任」どちらを取っても、消費者の安心安全のために正しい情報を伝えるべきであることに変わりはありません。

しかしながら、「健康食品」は食品であり、医薬品のような管理はなされていないことから、実態がよく分からないという現実もあり、健康被害情報の収集や市販後調査なども今後の課題として挙げられます。

今回のフォーラムは、健康食品に関する調査を通じて、「健康食品」のこれからを考える場にしたいと考えております。先般公表された消費者庁の「機能性表示食品制度における臨床試験及び安全性の評価内容の実態把握の検証・調査事業」を中心に、消費者団体で行っている機能性表示食品の評価報告、さらに国立医薬品食品衛生研究所で行っている「いわゆる健康食品」中の医薬品成分含有調査についてもご報告いただきます。

様々な角度から実態を見ることで、見えてくる課題があります。皆様とともに、健康食品の今後の展望についても考えていけたらと望んでいます。たくさんのご参加をお待ち申し上げます。

日 時	平成30年2月7日（水） 13時～17時
講 師	<ul style="list-style-type: none">・梅垣 敬三氏（国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所 食品保健機能研究部 部長） 「機能性表示食品制度における安全性の評価内容の実態把握の検証・調査について」・折笠 秀樹氏（富山大学 バイオ統計学・臨床疫学 教授） 「機能性表示食品制度における臨床試験の評価内容の実態把握の検証・調査について」・鈴木 勝士氏（日本獣医生命科学大学 名誉教授／ASCON 科学者委員会 副委員長） 「機能性表示食品の評価報告～ASCON 科学者委員会の見解～」・花尻（木倉）瑠理氏（国立医薬品食品衛生研究所 生薬部第3室 室長） 「いわゆる健康食品中の無承認無許可医薬品成分含有調査について」 【敬称略】（都合により演者は変更される場合があります） 4名の講師のご講演のあと、パネルディスカッションを行います
会 場	「全社協・灘尾ホール」 新霞が関ビル1階 〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2
交 通	東京メトロ「虎ノ門駅」より徒歩約5分、東京メトロ「霞ヶ関駅」より徒歩約7分
主 催 (お問合せ)	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 健康食品フォーラム事務局 〒105-0003 東京都港区西新橋1-5-11 第11東洋海事ビル4階 TEL 03-3595-1555 FAX 03-3595-1559 E-mail : kenshoku@shafuku.jp

申込方法

本フォーラムは社福協会員限定とさせていただきます。

既に会員登録がお済の方は会員専用ページ（<https://www.kenshoku-forum.jp/forumSeminar/forumDetail/20>）よりお申し込みください。

会員登録がお済でない方は、社福協 HP（<https://www.kenshoku-forum.jp/>）より会員登録を行ってください。当協会より年会費の請求書をお送りし、ご入金を確認後、ログインパスワードを発行いたしますので、会員専用ページよりお申込ください。（ご入金からパスワードの発行まで、1週間程度お時間をいただく場合がございます。）